

菊川市家庭医療センター運営事業

自治体情報 静岡県 菊川市

人口 / 45,378人 標準財政規模 / 11,417百万円

担当課 菊川市立総合病院経営企画室
電話番号 代表 0537-73-2267
実施主体 菊川市
関連ホームページ <http://www.shizuoka-fm.org/>

事業期間 平成23年度から

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：128,917千円 (H24)

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	128,917

施策のポイント

菊川市家庭医療センターでは、特定の診療科に限らず幅広く全科診療ができる家庭医を養成している。外来・在宅医療、保健予防事業を行い、地域に不足する医療サービスを補完し効果を上げている。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

静岡県中東遠2次医療圏は、人口10万人当たりの医師数が全国平均の1/2程度と低い水準となっている。この地域で全科診療のプライマリケアをグループで行う家庭医を養成し、地域医療を再生することを目的としている。

2. 取組の具体的内容

平成22年度から、磐田市、菊川市、森町が連携し、磐田市・菊川市・森町家庭医養成連絡協議会を立ち上げ、静岡県から地域医療再生推進事業費補助金をいただき、家庭医養成プログラムに取り組んでいる。

菊川市家庭医療センターは、家庭医養成の拠点施設として、地域医療再生推進事業費補助金をいただき整備し、平成23年8月にオープンした。同センターでは、家庭医による外来・在宅診療、健診、予防接種を行っている。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

静岡県地域医療再生計画では、平成25年度までに家庭医養成プログラムに20名の研修医が参加し、3年間の研修を行い家庭医療専門医取得した後、当地域に定着することを目標にしている。

4. 現在までの実績・成果

現在、家庭医養成プログラムに参加している研修医は13名で、内同センター所属医師は6名となっている。その中の1名が平成25年3月に3年間の研修を終えて家庭医療専門医を取得する予定である。

同センターでは、患者の話を聞くため診察時間をじゅうぶんに確保し診療に当たっている。また、健診・予防接種など予防医療にも力を注いでいる。開設当初に1日当たり35人であった患者数が現在は平均65人、多い日は100人を超える状況となっており、本年7月からは在宅診療も開始し、地域医療に幅広く貢献している。

また、研修医は菊川市立総合病院においても、午後の救急外来、宿日直業務の約35%、内科入院患者の約15%を受け持っており、病院常勤医の負担軽減にも大きく貢献している。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

家庭医療の先進国である米国ミシガン大学と連携し、研修医の短期留学や大学講師に来日していただき指導を受けるなど、魅力あるプログラムとしている。また、本年6月には浜松医科大学に寄附講座「産婦人科家庭医療学講座」を開設していただき、本プログラムの特徴の一つである産婦人科研修の充実に努めている。

センター開設にあたっては、教育施設としてプリセプター室、カンファレンス室、レジデント室を整備するとともに、全ての診察室に家族用の椅子を設置するなど「家族ぐるみのかかりつけ医」である家庭医の特徴を活かした施設とした。

6. 今後の課題と展開

今後の課題は、継続した研修医の確保と、地域からの期待の大きい在宅医療の推進である。研修医を継続して確保するためには、研修医の満足度を上げることが重要である。そのためには、教育体制を充実させる必要があり、同センターで次代の指導医を育成していく。また、在宅医療については、病院・施設・訪問看護ステーション（医療・福祉・介護）との連携を強化し拡大を図る。